

気候変動への対応 (TCFD提言を踏まえた取り組み)

SBIグループでは、気候変動を社会が直面する重要な課題の一つとして捉え、地球の平均気温が産業革命以前に比べて4℃、1.5℃上昇することを想定した2つのシナリオを用いて、気候変動に係るリスクと機会の特定を行っています。SBIグループの主要事業である銀行事業に関してはSBI新生銀行が2050年までの財務インパクト（累積）を試算しています。証券事業およびPE投資事業（プライベート・エクイティ）については2030年度における財務インパクトを試算し、気候変動により被る損失は軽微であると認識しています。

ガバナンス

SBIホールディングスは、業務執行取締役で構成され代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を取締役会の下に設置しています。

➡ P.32

リスク管理

SBIグループは、気候変動への対応の不備等を、経営に多大な影響を及ぼす経営戦略上の重要なリスクであると認識し、気候変動に係るリスクと機会の特定を行っています。当社においては、リスク管理の定常的な枠組みとして気候変動を含む企業活動を阻害する可能性のあるリスクを把握し、適切に評価・管理するため、リスク管理に関する責任者としてリスク管理担当役員を定めるとともに、リスク管理部門としてグループリスク管理統括部を設置し、統合的なリスク管理を実施しています。 ➡ P.48

戦略

シナリオ分析では、地球の平均気温が産業革命以前に比べて2100年時点でそれぞれ4℃、1.5℃上昇することを想定した2つのシナリオを用いて、「リスクと機会」および財務的な影響を分析・検証しました。

2050年度における財務インパクト予測 (2050年度まで累計／銀行事業)

SBI新生銀行では財務的影響額を以下の通り試算しています。
物理的リスク：累計で55億円～90億円程度の与信関連費用
移行リスク：累計で85億円～320億円程度の与信関連費用

※本試算上の物理的リスクの対象ビジネスは、国内不動産ノンリコースローン、国内プロジェクトファイナンス、住宅ローン、新生フィナンシャルの個人向け無担保ローン。
※本試算上の移行リスクの対象ビジネスは、電力ユーティリティ、石油・ガス、海運。

2030年度における財務インパクト予測 (2020年度比／証券事業およびPE投資事業)

4℃シナリオ：66百万円
1.5℃シナリオ：169百万円
(参考) SBIホールディングス 2025年度 税引前利益 5,167億円

※証券事業およびPE投資事業（プライベート・エクイティ）における、炭素税・排出権取引導入によるコスト増、電力価格のコスト増、ZEB対応コスト増、気温上昇による冷房コスト増、年平均の洪水被害額、年平均の高潮被害額、年平均の営業停止被害額による財務インパクト予測の総額を記載。

環境・社会に関する課題解決に向けた SBIグループの取り組み例

- グリーンボンドをはじめとしたSDGs債の発行支援（SBI新生銀行およびSBI証券）
- サステナブルファイナンス／インパクトファイナンス（SBI新生銀行）
- SDGsを踏まえた投資先の選定（SBIインベストメント）
- 営農型太陽光発電の開発事業（SBIスマートエナジー）

指標と目標

SBIグループは、国家目標である2050年カーボンニュートラル実現に向けて、当社グループのGHG排出量を2050年度までにネットゼロ（Scope1,2）とすることを目標とし、中間目標として2030年度までに2018年度比で33%削減することを掲げています。また、当社グループのScope3排出量の規模を把握するべく各カテゴリーの算定に着手しています。なお、2025年度の当社グループのGHG排出量（Scope1、Scope2合計）のうち、約8割をSBI新生銀行グループが占めています。SBI新生銀行グループでは2030年度までにネットゼロを目標としています。

GHG排出量の推移

(単位:t-CO₂)

	2023年度	2024年度	2025年度
Scope1	1,206	1,071	1,173
Scope2	10,367	9,817	8,499
合計	11,573	10,888	9,672
Scope3	5,496	5,921	6,288

※集計範囲：SBIホールディングスおよび主なグループ会社の国内拠点を対象に、GHGプロトコルで定義されるScope1（化石燃料等の使用に伴う直接排出）、Scope2（購入した電気・熱の使用に伴う間接排出）、Scope3（事業者の活動に関連する他者の排出）の各排出量を記載。
※Scope3は出張（カテゴリー6）、通勤（カテゴリー7）が対象。
※2024年度のScope2について、データ精査に伴い一部数値を更新しております。

TCFD提言に基づく開示の全文については、
以下サイトをご参照ください。



<https://www.sbigroup.co.jp/sustainability/environment/tcf.html>